

研究課題の名称

呼吸器疾患患者におけるフレイルの関係

研究の目的及び意義

レイルは、老化に伴う累積的にさまざまな身体機能低下を基盤とする健康障害に対する脆弱性が高った状態で、予防的介入や医療・介護ケアによる可逆性がある。呼吸器患者もフレイルを経て増悪寛解を繰り返しながら要介護状態となり、人生の最終段階に至ると言われている。呼吸器疾患とレイルの関係を明らかにすると共に、呼吸リハビリテーション介入で、2次予防効果が出せるのか検討することを目的とします。

研究対象者の選定方針

当院外来リハビリテーションに通院している呼吸器疾患患者

研究予定期間

承認日（2019年11月22日）から西暦2025年3月31日